

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

				事務事業コード	731-16-01		
事務事業名		選挙管理委員会運営事務事業		事務の種類	自治事務(義務的なもの)		
				連絡先	内線4620		
担当部署名		選挙管理委員会事務局		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	7	市民とともに築く 自立したまち		款	2	総務費
	施策	3	行財政運営		項	4	選挙費
	施策の方向	1	効率的・効果的な行政運営		目	1	選挙管理委員会費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	選挙権を有している市民					
	目的 (どうしたいか)	選挙管理委員会を適切に運営し、公正・適正な選挙を行う。					
	手段 (事業内容)	定例会および臨時会を開催し、選挙の管理執行及び投票の管理等に関して決定等を行う。研修会等に参加する。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和2年度決算)≫
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
当初予算額	事業費	1,704	1,465	1,631	【事業費】 報酬 1,260千円 旅費 2千円 需用費 85千円 負担金等 95千円
決算額	事業費	1,560	1,442	-	
	特定財源等	0	0	-	

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	定例会および臨時会の開催回数	単位	回
指標の説明	定例会および臨時会の開催回数		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	18	17	17
実績	18	15	-

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	選挙に伴う管理執行	単位	-
指標の説明	上記目的に対して、成果を数値化することは困難である		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	-	-	-
実績	-	-	-

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
公職選挙法第5条にて、選挙の管理機関について定めており、市の選挙は市選挙管理委員会が管理するものとされています。また、その他の選挙においても選挙運営を行っているところであります。よって選挙を執行するためには継続すべき事業です。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容)
近隣自治体の状況を研究し、事務改善等に努める。

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

事務事業コード 731-16-02

事務事業名		選挙啓発推進事業		事務の種類		自治事務(義務的なもの)	
担当部署名		選挙管理委員会事務局		連絡先		内線4620	
総合基本計画	施策目標	7	市民とともに築く 自立したまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	3	行財政運営		款	2	総務費
	施策の方向	1	効率的・効果的な行政運営		項	4	選挙費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	選挙権を有している市民					
	目的 (どうしたいか)	選挙に対する関心を高め、投票行動につなげる。					
	手段 (事業内容)	明るい選挙推進協議会の事務局として、市のイベント等での啓発物品の配布又、市内の小・中・高校生を対象とした選挙にちなんだポスターコンクール等の提出により、選挙に対する意識を高めている。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和2年度決算)≫	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 啓発物品 71千円 大阪府中部ブロック明るい選挙推進協議会連合会負担金 37千円 【特定財源】	
当初予算額	事業費	133	112	112		
決算額	事業費	113	108	-		
	特定財源等	0	0	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	啓発物品数	単位	個	
指標の説明	市のイベント等での啓発物品の配布数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		2,000	1,800	1,200
実績		3,600	2,640	-

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	選挙に伴う啓発活動	単位	-	
指標の説明	上記目的に対して、成果を数値化することは困難である			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		-	-	-
実績		-	-	-

個別評価				
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的的事业である。		B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。		
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。		
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。		B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。		
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。		
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。		

総合評価	改善して継続
(担当部局による総合評価の理由や課題) 投票率向上のため、幅広い世代に対する投票への意識付けをさらに行っていく必要がある。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容) 若年層への啓発や学校等への出前授業、またSNS等を活用し選挙啓発を実施していく。

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

事務事業コード 731-16-08

事務事業名		市長選挙及び大阪府議会議員補欠選挙事務事業		事務の種類		自治事務(義務的なもの)	
				連絡先		内線4620	
担当部署名		選挙管理委員会事務局		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	7	市民とともに築く 自立したまち		款	2	総務費
	施策	3	行財政運営		項	4	選挙費
	施策の方向	1	効率的・効果的な行政運営		目	3,4	市長選挙、大阪府議補欠選挙
事業の概要	対象 (誰を・何を)	選挙権を有している市民					
	目的 (どうしたいか)	羽曳野市長選挙及び大阪府議会議員補欠選挙の公正・適正な執行					
	手段 (事業内容)	投票所の確保、各種契約、投開票事務等の選挙の管理執行及び投票の管理に関すること。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和2年度決算)≫	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 市長選挙 32,442千円 府議補欠選挙 19,336千円 【特定財源等】 大阪府議会議員補欠選挙費委託金 17,586千円	
当初予算額	事業費	—	50,988	0		
決算額	事業費	—	51,778	—		
	特定財源等	—	17,586	—		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	投票所数	単位	箇所
指標の説明	選挙当日に投票所として開設された投票所の数		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	—	37	37
実績	—	37	—

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	公正な選挙管理	単位	—
指標の説明	上記目的に対して、成果を数値化することは困難である		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	—	—	—
実績	—	—	—

個別評価				
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的的事业である。		A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。		
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。		
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。		A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。		
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。		
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		B
	人件費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。		
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。		

総合評価	改善して継続
(担当部局による総合評価の理由や課題) 選挙執行経費の削減のため、投票所の統廃合も含めた人件費の見直し等、改善の余地がある。	

今後の改善内容	(令和3年度以後の事業実施への改善内容) 近隣自治体の実施状況を研究し、改善に努める。
---------	--